


研究者総覧：小川明子 (OGAWA, Akiko)

氏名	小川明子 (OGAWA, Akiko)	
職名	准教授	
所属講座	メディアプロフェッショナルコース	
学位（専攻分野）	博士（学際情報学）東京大学 Ph.D. in Interdisciplinary Information Studies	
メールアドレス	ogawa@lang.nagoya-u.ac.jp	
個人のホームページ	http://ogawa.mediaconte.net/	
研究分野	メディア論	
	メディア・リテラシー	
	コミュニティ・メディア研究	
現在の研究テーマ	メディアと社会的包摂をめぐる理論と実践	
所属学会	日本マス・コミュニケーション学会	
	社会情報学会	
	International Association for Media and Communication Research	
主要著書・論文	小川明子「ローカル新聞と日露戦争—豊橋『新朝報』における読者参加を例に」『マス・コミュニケーション研究』75号(2009), pp. 92-110.	
	小川明子、伊藤昌亮「物語を紡ぎ出すデジタル・ストーリーテリング実践—メディア・コンテ・ワークショップの試み」『社会情報学研究』第14巻2号(2010), pp. 115-128.	
	小川明子「医療と患者をつなぎなおすデジタル・ストーリーテリング実践」『愛知淑徳大学論集』メディアプロデュース学部篇第3号(2013).	
	Designing Digital Storytelling Workshops for Vulnerable People: A Collaborative Story-weaving Model from the “Pre-story Space.” <i>Journal of Socio-Informatics</i> . Vol. 7, No. 1 (Nov. 2014).	
	小川明子「地域メディアとストーリーテリング—地域メディア研究のあらたな展開に向けて」『メディアと社会』7号(2015) (掲載予定).	
自己紹介文	<p>大学卒業後、名古屋の放送局に4年勤めたのち、大学院に進学し、テレビとローカル・アイデンティティの研究からスタートしました。大学院では他にも、メディア・リテラシーをめぐるプロジェクトベースの実践と研究を、メディアの現場の方や教育関係の方々と一緒に展開しました(http://mell.jp/)。今あるメディアを自明のものとして捉えるのではなく、それを分析的、批判的に捉え、研究者以外の人たちとも</p>	

議論しながら新たなありようを模索していく創造的な研究は、苦しくも楽しく貴重な経験として私の研究のベースとなっています。



2008 年以降はデジタル・ストーリーテリングという

デジタル・ストーリーテリングのワークショップ風景

メディア実践と、その評価、理論構築に取り組んできました。デジタル・ストーリーテリングとは、市井の多様な人びとが、想いや経験、意見等を自分の声と写真で 2-3 分の映像にするワークショップ型メディア実践で、現在、国連をはじめ、世界各国でエンパワメントのために活用されています。その領域は教育から福祉、医療、歴史研究、組織経営など実に多様で、私自身も、外国籍の子どもたち、留学生、高齢者、障がいを持った方、そして被災地の大学生らとワークショップを繰り返し (<http://mediaconte.net/>)、そこから草の根的な市民メディア実践やストーリーテリングという行為がいかにか社会的包摂に寄与できるのかについて、メディア論とメディア実践、フィールド調査を往復しながら、インタラクショニズム的な視点から研究を進めてきました。

現在はこの経験をもとに、社会的包摂を目指すメディアの可能的様態を歴史的、比較文化的視座から探りつつ、異なる意見や背景を持つ人びとがメディアを通じて、いかに互いに理解しあうことができるのかをテーマに研究を続けています。

受験生へのメッセージ

今後も現状に溢れる社会問題を見据えつつ、未来を構想していくデザイン論的視点に立ったメディア研究を展開できればと考えています。さしあたり今後数年間は、以下のようなテーマで研究プロジェクトを実施していきたいと思っています。

- 1) デジタル・ストーリーテリングの理論と実践—地域における社会的包摂とケア領域への応用を中心に
 - 2) 東海地方におけるローカル・メディアの歴史社会的研究
 - 3) デジタル時代のメディア・リテラシーをめぐる理論と実践
- これらの関心と重なりのある方で、英語を含む文献の購読、調査や実

	践の立案など、プロジェクト型の研究に積極的に関わりたいと考えている受験生のみなさん。老若男女国籍問わず歓迎します！
--	---